

活動報告

団体名	熊本学園大学ボランティアセンター
活動名	熊本地震による地域コミュニティの再生にかかわる学生ボランティア活動事業
活動期間	2017年4月～2018年3月
活動の成果	<p>学習支援の活動では、狭小な仮設住宅の子どもたちの学習の場・居場所を確保するとともに、保護者の子育て支援につながった。子どもたちからは、仲良くなった学生に対して様々な相談事が出てくるなどの関係性が生まれた。</p> <p>仮設団地の子どもたちを連れ出した遊びの体験イベントでは、仮設団地の外で様々なプログラムを体験してもらい、遊びの幅を広げる事を目的とした。加えて、これまで支援が薄かった仮設団地とのつながりを生むための活動としておこなった。参加してくれた子どもたちは日頃とは異なる遊びができたことで喜んでた。また、新たな仮設団地との接点を生むことができた。</p> <p>ニュースレターの作成では、学生自らが内容を企画し、仮設住宅の住民の方々と交流しながら、情報を集めるなどの作業を積み重ねた。これにより住民の方々とより親密な関係づくりができた。また、仮設団地での配付を通じて、住民の方々に学生の視点からの情報提供をすることができ、住民の方からも感謝の言葉をいただいた。さらに、学生の自主的な動きが形となり、学生たちの自信にもつながった。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>ご寄付を頂きありがとうございました。</p> <p>寄付金はボランティアをおこなう学生にとって貴重な活動資金となりました。ボランティアをおこなう学生にとって負担となる被災地域までの交通費に、寄付金を充当することができました。このため、移動にかかわる支出をあまり気にすることなく、活動に専念することができました。活動する学生にとっても、被災地で不自由な仮の生活を送られている住民の皆様にとっても、とても有効なお金となりました。</p> <p>加えて、学生ボランティアと被災した住民の方々とをつなぐ、プログラムの実施やニュースレターの作成など、被災地域でのコミュニティ再興に寄与する取り組みをおこなうことができました。寄付金があったため、自己資金で活動するよりも、内容的にも質的にもより充実したものが実施できました。感謝申し上げます。</p>

(活動のようす)



